道徳通信 **であう・みつめる・ひらく**	島本町立第二中学校 令和8年9月15日（火） 第 5 号

Kind words can be short and easy to speak, but their echoes are truly endless.

Mother Teresa

やさしい言葉は、たとえ短くさりげなくても、いつまでも心にこだまする。

マザー・テレサ

北原白秋の「ひとつのことば」という詩を紹介します。

ひとつのことば　　北原 白秋

ひとつのことばで　けんかして
ひとつのことばで　なかなおり

ひとつのことばで　頭が下がり
ひとつのことばで　心が痛む

ひとつのことばで　楽しく笑い
ひとつのことばで　泣かされる

ひとつのことばは　それぞれに
ひとつのこころを　持っている

きれいなことばは　きれいな心
きれいなことばは　やさしい心

ひとつのことばを　大切に
ひとつのことばを　美しく

新年度が始まって約5ヶ月が経ちました。新しい仲間との関係も深まり、新しい環境にも慣れてきたと思います。学校生活に安心感が出てきた時期だからこそ、改めて意識してほしいのが「言葉遣い」です。

4月の頃は、お互いに緊張感があり、言葉を選ぶときも慎重だったはずです。しかし、仲良くなるにつれて気持ちが緩むと、無意識のうちに言葉遣いが雑になったり、乱暴になったり、思いついたものをそのまま発言してしまったりしがちです。「悪気はなかった」「そんな意味ではなかった」という何気ない一言が、思いがけず相手を傷つけたり、大切な関係を壊したりしてしまうこともあります。



怪我等による身体の傷は時間の経過とともに癒えますが、心ない言葉によって深く傷ついた心は、生涯残るトラウマになることもあります。その一方で、たった1つの温かい言葉が人に安らぎや喜びをもたらし、時には困難に立ち向かう大きな原動力になることも事実です。



冷淡でトゲのある言葉が日常会話やSNS上で飛び交いがちな現代だからこそ、今一度「言葉の重み」や「言葉が与える影響力」、そして「正しい言葉の選び方・伝え方」を真剣に見つめ直さなければなりません。



みなさんにとって、人に勇気を与える「ひとつのことば」は何ですか？

みなさんにとって、人に笑顔にする「ひとつのことば」は何ですか？

みなさんにとって、人に温かさを与える「ひとつのことば」は何ですか？

「その言葉は人を傷つけるよ」「その言葉遣いは良くないよ」と子どもたちが間違えたときには、学校では私たち教職員が、ご家庭やホームでは保護者のみなさんが、根気強く教え導いていくことが必要です。そして何より、私たち大人が良き見本となれるよう、日々の言葉遣いや対話の姿勢を正し、見つめ直していかなければと思います。